

年度 2009 前期	曜日・校時 金 曜日 4 校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	言語と芸術(彫刻の世界) Language and Art (Sculpture World)		
対象年次 1, 2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部 (50 名限定)	科目分類 人文社会科学	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 佐藤敬助 / E メールアドレス: keisuke@nagasaki-u.ac.jp/ 研究室: 教育学部美術技術棟 102 番教室 / TEL: 095-819-234 /オフィスアワー: 毎週金曜日 14:00~14:30			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 立体(彫刻の世界)を通してその現実の日常空間を見つめながら、その素晴らしさをより享受できるようにすることを目的として、小品を制作しながら生活の中の豊かさを考えてみたい。 授業方法: 講義及び実際の作品制作 授業到達目標: 作品鑑賞などを通しての立体的な感性についてほぼ理解し、その感性を内包する自分自身をほぼ分析できる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) : 日常の生活空間は 3 次元であるはずなのに、その生活に対する意識の大半は 2 次元の要因をもとにして営まれているといっても過言ではないようである。そこでこの授業においては、EXLIBRIS の制作を通してその現実の日常空間を見つめながら、その素晴らしさをより享受できるようにすることを目的としながら生活の中の豊かさを考えてみたい。 第1回 ガイダンス・授業進行の予定・彫刻の見方・美術の鑑賞の仕方 第2回 長崎市の彫刻、彫刻の制作概要 第3回 EXLIBRIS に関する説明 第4回 素材を手にしながらの着想とアイデアスケッチ 第5回 EXLIBRIS 制作開始 第6回 " 制作 第7回 " " 第8回 " " 第9回 " " 第10回 " " 第11回 " " 第12回 EXLIBRIS の版面の制作 第13回 " " 第14回 " の印刷 第15回 " と提出及び全授業のまとめ			
キーワード	彫刻 立体 感性 鑑賞		
教科書・教材・参考書	必要に応じて資料を配布。5 回目以降、制作に必要な教材と道具を必要とします。また教材費として、一人 2000 円程度かかる見込みですので、準備をお願いします。また道具として、鉄鋸・5 寸釘 1-2 本・彫刻刀・金槌・マイナスのドライバー・紙やすり 100 番・180 番・新聞紙朝刊程度分・軍手も準備してください。		
成績評価の方法・基準等	提出作品画像 45%・レポート 45%・授業への積極的な取り組み状況 10%		
受講要件(履修条件)	履修者多数の場合は、授業開始前に抽選をします。その抽選等の連絡掲示に注意してください。履修者を授業遂行の都合上 50 名に限定します。		
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)	授業の中で作業を伴う形となるため、汚れを防ぐもの(エプロン等)を各自で準備してください。また、5 回目以降の授業には道具を各自で必ず準備してください。準備のない学生は、欠席扱いにすることがあります。		